

「国際協力」を 仕事にする

経済活動がグローバル化しているように

それ以外の活動もグローバル化が進んでいます。

日本の大学生サークルが東南アジアに小学校を建てたり

元気なシニアの人たちが途上国の農業開発を応援したり

逆に東日本大震災の被災地に海外から数多く支援の手が差し伸べられるなど

今や「国際協力」は、日常のあらゆる場面で見受けられるようになりました。

今号は、それを「仕事」にするということについて考えていきます。

国連や政府機関で働いている人や、NGOや株式会社を立ち上げた人など

世界の現場で活躍する人々がどんな想いで、どんな仕事をしているのか、

なかなか知ることのできない「国際協力の仕事の現実」を語っていただきました。

また、国際協力を仕事にしたい人にも、そうでない人にも知ってもらいたい

国際協力にまつわる基本知識を有識者に教えていただきました。



chapter.1

国際協力の最前線で働く人たち

- カンボジアで地雷撤去に取り組むNGO創設者
- 途上国行政官の能力開発に携わる世界銀行職員
- パレスチナで子どもの権利を守るユニセフ職員
- モンゴルの法制度を整備するJICA職員
- ルワンダの子どもと地域を支援する国際NGO職員
- フィリピンの貧困社会をビジネスで変える社会起業家
- パラグアイで村落開発を行う開発コンサルタント
- アフガニスタンで武装解除を行ったNGO事務局長

取材・文／小林裕子(12p, 13p, 15p)、山下久猛(8・9p, 14p)、伊藤敬太郎(10p, 11p)、
荒尾貴正(16・17p) 撮影／中岡邦夫(8p, 12p, 13p, 14p, 15p)、伊藤誠(10p)、
榎本祐介(11p)、田中史彦(16p)

chapter.2

国際協力の基本がわかるQ&A

- Q1なぜ必要？／Q2どんな分野がある？
- Q3どんな団体がある？／Q4どんな仕事がある？
- Q5どうすれば仕事に就ける？／Q6どんな大学・学部がいい？
- Q7学生生活はどう過ごす？／Q8「青年海外協力隊」とは？
- Q9気をつけることは？／Q10どんな人が向いている？
- Q11仕事以外で国際協力をする方法は？

人は生まれてくる国を選べません。
だからこそ、どの国に生まれたとしても
誰もがひとしく幸福になれるような世界でありたい。
そんな基本的な考え方を出発点として
あらためて「国際協力」の意味を考えていただけたら幸いです。

